



## 高信頼性鋼の山陽

常務取締役

岸本 耕司

山陽特殊製鋼技報第13巻発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

先般発表された平成18年度から22年度までの国の科学技術政策の基本方針を決める総合科学技術会議の第3期科学技術基本計画では、従来の重点4分野のライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテク・材料に加え、エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティアを新たに推進4分野として強化していくことが謳われています。従来のナノテク・材料分野に加え、ものづくり技術分野の更なる強化により、世界をリードする高付加価値材料を生み出すものづくり技術が重要な研究開発課題にあげられています。ものづくりは我国の国力の源であり、その強化の重要性が謳われていることは、大変喜ばしいことでもあります。現在、当社も高強度・高機能鉄鋼材料創出にかかわるナショナルプロジェクトの立上げに参画しており、微力ながらも貢献していきたいと考えています。

ものづくりに関して言えば、弊社では平成17年度から3ヶ年の第6次中期経営計画の中で、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の強化を重点施策の一つに掲げています。これまで長年にわたり培ってきた高 cleanliness 鋼の製造技術をベースとして、品質のみに留まらず、開発、安定供給等あらゆる面から必要な対応を取り、お客様から満足感・安心感を持って鋼材を使って頂けるような、そしてその結果としてお客様からより高い信頼を得られる企業となることを目指して全社を挙げた取組みを行っています。

高信頼性鋼を代表する製品として超 high cleanliness 鋼があり、優れた疲労強度、疲労寿命と高い信頼性が求められる軸受や自動車部品に用いられています。また、高い冷間鍛造性と結晶粒度安定性、高強度を兼備したTMAX鋼、低熱膨張率と高強度を両立させた新インバー合金など、ニーズに合った開発を進めており、これらを含むナンバーワン商品は、当社売上の約5割に達しています。「高信頼性鋼の山陽」のブランドは、特殊鋼の製品に限るものではありません。粉末事業においても真空溶解-不活性ガスアトマイズされた球状金属粉末は高品質高信頼性を特長としており、それを生かした開発を進めています。また、製造技術、製造プロセスの安定性、信頼性をさらに高めるために、TPM活動に加え、技術の伝承活動、人材育成にも取り組んでいます。

ものづくりにおいては信頼性の高さが世界規模での競争力の源であり、高信頼性こそがこれからの時代を切り拓いていく世界共通の鍵であると信じています。

今後ともどうぞ宜しくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

高信頼性鋼の山陽

SANYO SPECIAL STEEL – the Confident Choice